

霧ヶ峰基金会報

2010年2・3月号（通算34号）

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactory さま2階

TEL 090-9668-3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



それぞれの雪

この年末年始、たくさんの雪が霧ヶ峰を包み、一面の銀世界となりました。

霧ヶ峰の冬は「一年のうちの半分」という人もいるほど長く、真冬には最低気温が -10°C を下回ることなど珍しくなどありません。遅いときには4月の末ごろに降雪がある年も見られます。

雪は生き物たちの食べ物を覆い隠し、雪のはらにはキツネやウサギ、ニホンジカなどの足跡が行きかいます。常にお腹をすかせていることは想像に難くありません。鳥たちは残り少ない木の実を探し、梢を渡り歩きます。一方、降り積もった雪は植物たちを包み、冷たい外気や強い風からダウンジャケットの様に彼らを守るのです。

静謐に満ちた草原を見つめていると、冬を生きる生き物たちのそれぞれの物語が聞こえてきます

エコプロダクツ2009視察報告

今年も昨年に引き続き、2009年12月10～12日に東京ビックサイトで行われた「エコプロダクツ2009」の視察に行っていました。

企業、団体、NGO、NPO、行政、自治体、大学、研究機関等によるブースの数が昨年より若干減り721団体。一方、来場者数は過去最大の18万人。ここにも世相が反映されたと感じました。

今回は「生物多様性」、「低炭素社会（化石燃料をあまり使用しない社会）」、「バイオマス利用（植物由来の燃料開発、バイオプラスチック）」などが大きなコーナーを占めていました。

生物多様性

昨年、「生物多様性基本法」という法律が施行されましたが、近頃、新聞等で生物多様性に関して目にすることが多くなってきています。

関連ブースは、貴重な野生動物の保護に関する団体、里山の保全、エコツーリズム・自然観察会の団体、生物多様性に関する投資信託等、文字通り「生物多様性」。活動内容はもちろん多様でしたが、共通している点は、我々の生活は生物の多様さがあることの恩恵の上にあることを伝えたいようでした。

その中、実際体験できるということで、日本自然保護協会（NACS-J）自然観察指導員東京連絡会主催の自然観察会に参加してきました。

場所は東京ビックサイトに近い「水の広場公園」。

埋め立て処分場であったところを10数年前に公園整備し、現在は、植えられ樹木とともに、昆虫、野鳥が増え、生物の多様性が進行している状況とともに、一方、外来種の侵入について解説を受けました。小さな公園でしたが、私たちを取り巻く大きな世界の状況について感じ、考えさせられたいい機会でした。



植物バイオマス

木材、草本からエネルギーを取り出すプラントの発表もいくつかありましたが、新しい傾向は、エネルギー開発で生じた、植物性廃棄物の利用紹介です。

具体的には間伐材チップを熱分解しガスを取り出し（発電）、残った灰（炭素）からナノカーボンを生成し工業製品、印刷インクの製造することを検討しているところがありました。植物バイオマス利用は、単にエネルギーを取り出すだけではなく、植物資材を活用した化学プラントの開発の方向にむかっているようです。

あれこれ

出展数ゆえ、目を引く展示が多かったのですが、親子連れに人気があったのが、実際に磯の生物を見たり、触れたりするコーナーでした。

小さい子が夢中になりヒトデやナマコを捕まえているシーンを目にしました。



一方、大人がたくさんいたのが、電気で動く自動車のコーナーでした。

また、会場では昨年度の活動報告書を各種団体交換し交流と情報収集を図ってきました。

これもみなさまのご支援の賜です。

視察を終えて

大きく環境全般をテーマにした展示の視察であり、全貌はこの紙面には書ききれませんが、霧ヶ峰基金の活動を踏まえると、実際にエコツアーの際「今日はたくさんの種類の花を見た」と嬉しそうに振り返るお客さまが何人もいます。

また、モニタリング調査では、出現種数の多さに四苦八苦するときもあります。

今年は、生物多様性については、エコツアー、モニタリング調査の活動を通じ、現在の霧ヶ峰の状況踏まえ、ご紹介する機会が増えるのではと考えております。

（担当：小原宏文）



霧ヶ峰で 初もうで



「新年のお参りは、霧ヶ峰で！」
毎年、旧御射山神社へ新年のごあいさつと一年の無事を祈って赴くのが通例ですが、当日はあいにくの雪。それでも、と思いましたが積雪のため道路事情が悪く、コースを変更し、強

清水の薙鎌（なぎがま）神社までおまいりに出かけました。



薙鎌神社は昭和8年建立。
ご神体には御射山遺跡から出土した薙鎌を祀り、諏訪湖が一望できる場所にあります。
当日は残念ながら景色は望めませんでしたが…。



降りたての雪はさらさらふかふか。
「ぼふっ」と埋まると、とっても楽しい！！
こんなことは、普段の暮らしの中ではめったにできません。笑いが止まらない一行です。
今回は半日程度の行程となりましたが、お天気のいい日に改めて旧御射山神社にもごあいさつにうかがう予定です。

2月にも会員さま向けに「雪みちさんぽ」を企画しております。（この会報の最終ページをご覧ください）
ご参加お待ちしております。

（担当：降旗香代子）

上諏訪街道 春の呑み歩きに出展します。

毎年恒例の「上諏訪街道春の呑み歩き」、今年は3月20日（土）に開催です。
2,000円のパスポートを買って街道を歩けば、5つの酒蔵の美味しいお酒が味わえます。

今回も真澄蔵元の宮坂醸造さまの駐車場をお借りして、霧ヶ峰の美味しい水で淹れたあつあつコーヒーの提供をいたします。

大好評のオリジナルポストカード&手ぬぐいの販売もしておりますので、どうぞお立ち寄りください。

【上諏訪街道呑み歩き お問い合わせ】

真澄蔵元 宮坂醸造株式会社 企画部 TEL.0266-52-6161



活動記録（2009年1月1日～12月31日）

11月	1日	・諏訪温泉泊覧会ズーラ プログラム「霧ヶ峰まで歩こう！」催行
	14日	・諏訪市霧ヶ峰高原草原再生事業 雑木処理参加
12月	5日	・会報2009年12・2010年1月号発行
	6日	・打ち合わせ会
	19日	・長野県霧ヶ峰自然環境保全協議会 「霧ヶ峰学術調査発表会」聴講
	30日	・事務所年末大掃除

（2009年12月末日現在） 賛助会員65名 正会員10名

いつもご支援ありがとうございます。

寄付金（2009年1月1日～12月31日）を12,000円いただきました。
これらのご寄付は活動を通じて霧ヶ峰の環境保全とエコツーリズムの推進に活用されます。
ご支援に心より感謝申し上げます。

霧ヶ峰基金は活動の趣旨にご賛同してくださる方の寄付金を、随時受け付けております。

金額は1円以上から、下記の郵便口座までお願いいたします。
全国の郵便局からいつでもお手続きいただけます。（手数料はご負担ねがいます。）

- ・口座番号 00520-7-44684
- ・加入者名 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

※ご寄付をいただいたかたのお名前の取り扱いについて

2008年4月より寄付金をいただいたかたにつきまして、金額等に関わらずご本人様が希望されない場合を除き、会報上にてお名前をご紹介させていただきます。あらかじめご了承ください。（お名前のご紹介を希望されない方は、その旨をお知らせください）

【会員さん限定】 雪みちさんぽ（八島ヶ原湿原編）

スノーシューをはいて、ゆっくり雪の積もった八島ヶ原湿原をぐるりと一周します。
雪の上に残る足跡から動物たち冬の暮らしの様子を探ってみませんか？



雪の上、あちこちに暮らしの痕跡がくっきり。こんな楽しみ方も冬季限定！

日時 2010年2月11日（木・祝）

集合：8：30 諏訪市霧ヶ峰スキー場駐車場（公衆トイレの近く） ※解散 13：30ころを予定。
※天候等によりコースを変更したり、中止する場合があります。ご了承ください。

持ち物・服装

防寒着、帽子、手袋、マフラーなど ※スキーに行く服装を参考にしてください。

スノーブーツ（防水性があるもの）、ゴーグル、日焼け止め おひるごはん、おやつ、あったかい飲み物
スノーシュー&ストック（レンタルのご相談承ります。）

お問い合わせ・お申し込み

事務局 TEL 090-9668-3380 ※不在の場合はメッセージをお入れください
e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

締切 2010年2月5日（金）19：00

編集後記

- 2年に1回、インフルエンザにかかる傾向の私…。今年はその「2年に1回」にあたりそうな年。
- 早々に季節性インフルエンザの予防接種を済ませ、「人の大勢集まる場所へは行かない」とか「外に行ったらうがい手洗い、きっちり」とかマイ・ルールを決めて、年末年始を迎えました。
- 遊びに行く先は、人の少ない冬の霧ヶ峰。
- 変な心配せず、寝っ転がってみたりスノーシューで無理やり走ってみたり…気分爽快！
- でも、まだまだ油断はできません。楽しく遊ぶには日々の健康管理が大事なのです！（笑）

（か）

次号会報 2010年2・3月号は2010年3月下旬ころ発行予定です。